

## セレックでの治療の流れ



古い被せものを外すと虫歯ができていた場合、虫歯の除去を行いその後3D撮影します。

### 土台づくり

- \* 虫歯治療
- \* 古い詰めものをはずすなど

### 3Dカメラで撮影

### コンピューターが修復物を設計

ミリングマシンがデータを基に削りだす。

### 口腔内へ装着

## たの歯科がセレックを

### おすすめする理由

- ① 虫歯が再発しにくい
- ② からだに優しい
- ③ 長持ちする
- ④ 治療が1日で完了する
- ⑤ 実は通常の治療より費用が抑えられる

### ① 歯が再発しにくい

セレックで使用するセラミックブロックは、ドイツの工場で厳密な規格管理のもと生産されているので、手作業による若干の歪が存在せずとても耐久性の高いものとなっています。だからといって硬すぎるわけではなく、**天然の歯に非常に近い強さに設計されているため周りの自分の歯を摩擦することがありません。**更に、**熱による膨張や収縮が天然の歯とほとんど変わらないので詰めた箇所にも隙間が出来にくい**のです。

そのため金属で治療した場合によく起こる「**歯と金属の間に隙間が出来てそこから虫歯になっていますね。一旦金属を外して虫歯の治療をしてやりかえましょう。**」ということが非常に少ないのです。

また、今まで「**定期検診にちゃんと通っているのになんで虫歯が発見できないんだ**」と思われた方もいらっしゃると思います。

実は歯科医が視診で「虫歯かな？」と思われた場合にほとんどの場合エックス線写真を読影して診断しますが、金属の場合真っ白に映るため、場所やサイズの診断がはっきりできないのです。そのため、金属を外してから虫歯の箇所が思ったより大きかった、小さかったということが起こります。しかし、**セラミックの場合エックス線写真もほかの歯と同じように読影できます**ので、金属の歯の様に気が付いたら虫歯になっていたということもありません。つまり虫歯が再発しにくいのです。

### ② からだに優しい

一般的にセラミックが「体に良い」と言われるのは、セラミックという材質が人体との親和性が非常に高いため人体に影響を与えず「**からだに優しい**」からです。例えばセラミックで作られた人工骨や人工関節は、丈夫で耐久性が高く、人体との親和性のある材質であり医療用に広く使われています。

### ③ 長持ちする

金属の詰めものでは熱いものを食べると膨張し、冷たいものでは収縮するので飲食しているとだんだんとサイズが変わり、虫歯が出来なかったとしても、内部の接着剤が少しずつ溶け出して最後には外れるのです。（金属の修復物の平均寿命は3～5年。）セレックで使用するセラミックブロックは**熱による膨張や収縮が天然の歯とほとんど変わらないので、詰めものだけがサイズが変わり外れるということはありません。**

### ④ 治療が1日で完了する

特別な場合を除き、左記の【治療の流れ】が1日で終了します。

### ⑤ 実は通常の治療より費用が抑えられる。

従来の金属の詰めものの場合、耐久年数が3～5年という統計結果が出ています。セレックでの詰めものは①や③の理由により、耐久年数が長くなり定期的にメンテナンスに通っていただいていた場合**30年をもつ**と言われています。つまり、従来の金属の詰め物で6～10回やりかえる必要がない上に虫歯などになって治療することもなくなるという理由から従来の金属での治療に比べてトータルすると費用が抑えられるということになります。

定期的なメンテナンスを受けることにより、保証期間が延長されます。必ず受けましょう♪